

令和 6 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会（第 6 回全体会） 議事要旨

会議名：令和 6 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会 第 6 回全体会

日時：令和 7 年 1 月 28 日（火）18:15～19:30

場所：矢吹町複合施設 KOKOTTO

参加者：委員 26 名（会長、副会長含む）、傍聴者 2 名

【以下、議事要旨】

（1）開会、教育長あいさつ

|     |   |
|-----|---|
| 教育長 | 前回協議内容の振り返りを行ったうえで、どのような学校を作っていきたいかを議論いただきたい。 |
|-----|---|

（2）会長あいさつ

|    |  |
|----|--|
| 会長 | 今年度は答申ではなく中間報告となった。本日は中間報告の内容、特に魅力ある学校・教育環境について議論いただきたい。 |
|----|--|

（3）前回協議内容の整理について

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | （資料 1～3 に基づき、出生者数の推移及び児童数の見込み、学校の適正規模・適正配置関係法令、基本方針から工事発注・着工までのイメージ（統廃合・施設整備）、町立小学校の学校施設の状況（主な工事等執行状況）について説明）<br>・「施設整備後の水道光熱費などを考慮すると、4 校を 1 校にするスケールメリットを生かす方法が費用の抑制につながることもあり、事務局では段階的ではなく 1 校にすることが望ましいと考えている。」旨の内容を説明。 |
| 会長  | 質問等あるか。   |
| 委員  | なし。   |

（4）町立小学校の再配置の必要性に関する協議

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | （資料 2 に基づき、今後の児童数の減少や町立小学校の老朽化の状況や要しているコストについて説明）<br>グループワークにて、「魅力ある学校・教育環境」について、以下の 4 点について議論いただき、グループごとに議論内容を発表していただきたい。 |
|-----|--|

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>①こどもが主役の学校</p> <p>②安心・安全な学校</p> <p>③地域・家庭とともにある学校</p> <p>④その他</p>  |
| 委員<br>※幼稚園長    | <p>③既存の 4 小の歴史・伝統を学ぶ機会があってもよいのではないか。また、町では農業が盛んであり、食育との関連も図れるとよい。農業短大との連携や地域人材の活用も考えられる。学校のイメージが固まってからも議論したい。</p>   |
| 委員<br>※幼稚園の保護者 | <p>②安全に登下校できるような見守り隊の配置（見直し）。大人数の学校に馴染めない子どもへのケアも重要。</p>  |
| 委員<br>※小学校長    | <p>①～③の 3 本柱はよいと思われるため、この内容で中間報告をまとめてはどうか。また、つなぐ教育で話し合われた内容から魅力ある教育環境に関する部分を盛り込むことも考えられる。いずれにせよ、学校のイメージが固まってから具体的に議論したい。</p>  |
| 委員<br>※小学校保護者  | <p>①学校の特徴を最大限に活かすことが必要。また、時代に合わせて IT 関連教育や道徳教育も重要。</p> <p>②地域学校協働本部、学校運営協議会、行政区が連携して子どもの教育にあたる必要がある。カウンセラーの配置による子どものケアも重要。また、子どもが自分の意見・考えを発信できる教育や環境が重要。</p>  |
| 委員<br>※区長会     | <p>①学校が大きくなると不登校児が増えるというデータがあったはず。そのケアを考える必要がある。子どもが主役ということで、子どもを中心に考えてほしい。</p>   |
| 委員<br>※中学校・保育園 | <p>①子どもが主役となるには適正な学校規模と、<u>縦割り活動</u>のような異学年交流が重要。</p> <p>③スクールバスで全員が登校するのはどうかと思う。無償で実施できるように思えないが、保護者の負担はなるべく少なくしてほしい。また、見守り隊も不要になってしまうと思われるため、地域も関わられるような学校づくりが必要。</p>                               |
| 委員<br>※議員・副会長  | <p>①子どもが主語となっているかが重要。また、流動的で不確実な時代になっていくなかでは、個別最適な学びを進めていく必要がある。縦割り活動や、1-9 年生が一緒に学ぶ事例もある。学校教育のあり方も考えていく必要がある。</p> <p>②安心・安全は物理的だけでなく、心理的な距離も重要。また、経済的格差が大きくなるなかで、どのような家庭でも子どもが豊かに育つように支えられることが重要。</p> |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>③地域性が生きていることが重要。そのためには、地域の人を学校の中に呼び込み、子どもと関係性を作ってもらおうという方向性もある。</p> <p>④規模としては、6-9年後に1校に統合するのであれば、全校生徒400人程度であり一定適正になるのではないか。また、場所も通いやすい場所であることが重要。</p>                                     |
| 会長 | <p>整理すると、まず①～③を学校環境の柱としてよいとのご意見があった。</p> <p>① ICT教育の充実、異学年交流、個別最適な学びなどが重要。</p> <p>② 登下校の安全確保、スクールバスの検討、見守り隊の配置、子どもの心のケアが必要。</p> <p>③ 地域性を生かす、学校運営協議会等との連携が重要。</p> <p>このような内容で中間報告を整理してよいか。</p> |
| 委員 | 異議なし。  |
| 会長 | 事務局で中間報告をとりまとめ、委員に確認いただくことを想定している。他に意見やご質問はあるか。  |
| 委員 | なし。  |

|             |   |
|-------------|---|
| (5) その他について |   |
| 事務局         | <p>(今後のスケジュールについて説明)</p> <p>今年度の検討委員会は今回が最終回である。年度変わり委員のお立場も変わることもあるかもしれないが、引き続き委員を継続いただきたい。関係機関を通じて連絡をさせていただく。</p> |
| 事務局         | 以上をもって本日の会議は終了とする。  |

以上